



ベルアンサンブル

Bellensemble

Vol. 11

迎春



新年号

新年のごあいさつ

多職種によるワークショップ報告

市民公開講座開催報告

ベルアルプ活動報告

栄養教室開催のお知らせ

行事予定：1月～3月行事スケジュール





新年のご挨拶

ベルピアノ病院 院長 戸田 爲久

あけましておめでとうございます。

平素は当ベルアンサンプルの各施設をご利用いただきありがとうございます。

ベルピアノ病院では「急性期の治療を継続し、早期に在宅療養につなぐチーム医療の提供～帰ろう、住み慣れた街、住み慣れた家へ～」の基本方針の元、在宅復帰や在宅療養を支える機能を果たすべく活動しております。今後も急性期病院などから在宅復帰を目指すパートナーをリハビリテーションなどで支援するとともに在宅療養中の皆様への医療を含めた支援を在宅部門（訪問看護ステーション、介護相談センターなど）と協力して進めることで、在宅療養での「ほぼ在宅、ときどき入院」を支えていきたいと考えております。そして、通所リハビリテーションセンターでは、病院退院後などに自宅で過ごされている皆様に体力の維持・向上や転倒予防、介護予防のためのリハビリテーションと利用者の皆様同士の交流の場を提供したいと考えております。今後、さらに機能を充実して利用者の皆様のご希望に応えていきたいと考えておりますので、これからもご利用をいただきますようお願い致します。



新年のご挨拶

ベルアルプ 施設長 大谷 晃

新年あけましておめでとうございます。

新年にあたり、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

本年、当施設は開設5年目を迎えます。これも皆様をはじめ地域の方々のご支援によるものと深く感謝申し上げます。今後も医療・福祉複合施設「ベルアンサンプル」内の介護福祉施設として地域に貢献できますよう職員と共に努めてまいりますので、地域の皆さまからのご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



第4回

多職種によるワークショップ

～多職種連携で何ができるのか～

今年度も病院や施設の社会福祉士、看護師、薬剤師、介護福祉士、介護支援専門員、ヘルパーなど42名に参加していただき、講義と多職種によるワークショップを10月3日に開催しました。今回は「認知症を地域で支えていくために」～多職種連携で何ができるのか～をテーマに行いました。講師には、堺市認知症地域支援推進員で保健師の中筋公子先生、ベルランド総合病院の認知症看護認定看護師石川智子先生をお招きし講義をしていただきました。



堺市認知症地域支援推進員で保健師の中筋さんからは「認知症をとりまく現状と行政の取り組み」ベルランド総合病院認知症看護認定看護師石川さんからは「医療機関での認知症ケアと家族支援」について、ご講義いただきました。グループワークでは様々な意見交換を行なうことができ、あっという間に時間が過ぎ、とても有意義な研修でした。 介護支援専門員 ミーリンズ範子



病院では出来る限り元の生活に戻れるよう、ご家族の負担も考え多職種で連携し、在宅復帰を目指しています。しかし、在宅に戻ると病院ではわからない問題が多々発生しています。ワークショップでは、必要とされている情報は何か、それぞれの専門的視点を活かした取り組みは何かを考える良い機会になりました。認知症を発症しても、少しでも長く、その人らしい在宅生活が続けられるよう、入院時から地域との連携を密にしていきたいと思えます。また、専門職種間で、どのように情報を共有していくのか、利用者の方はどのような協働を望んでいるのか等、様々な課題も明確になりました。今後もこのような研修を行い、力を合わせて課題をクリアしていき、認知症の方も安心して在宅生活が送れる地域を皆さんと共に目指していきたいと思えます。

看護師 西浦由紀



第3回 ベルアンサンプル市民公開講座

平成27年11月21日(土)
ベルアンサンプル地域交流ホール

講師に（NPO法人ささえあい医療人権センター COML 理事長 山口 育子先生）をお招きしてベルアンサンプル市民公開講座を開催いたしました。

地域住民の方を含め、たくさんの参加を頂きました。当法人理事長、田中肇のあいさつから始まり、ベルピアノ病院、院長戸田より「在宅療養に際して当施設で提供できること」について、当施設の役割も含めたお話をしました。NPO シルバー総合研究所よりDVD放映「やすおじいちゃん物語」の鑑賞の後、最後に山口先生より「賢い患者になりましょう」の内容でご講演いただきました。



第1部

『在宅療養に際して当施設で提供できること』

ベルピアノ病院 院長 戸田 爲久

医療・福祉複合施設であり、多くの専門職が集結していることで、他にはない安心と適切な連携が提供できるという事を地域の皆様にお伝えさせて頂きました。



DVD放映

『やすおじいちゃん物語』

NPOシルバー総合研究所

認知症の方のお気持ちや症状をアニメーションにし、わかりやすく知る事ができ、ご家族様や介護者の温かな対応がとても必要であるという事を気付かせて頂けるDVDでした。



第2部

「賢い患者にな리ましょう」

あなたが『いのちの主人公

からだの責任きき者』としての自覚が大切です。

NPO法人ささえあい医療人権センターCOML(コムル)

山口育子 先生



冒頭より、医療者に主導権があった山口先生の実体験のお話しをして頂きました。患者は受け身になる傾向があるというお話から、「賢い患者」についてのお話しを聞かせていただきました。具体的には、患者の主体的な医療への参加です。賢い患者になるためには、「病気を自覚する」、「自分の受けたい医療を考える」、「思いを言語化する(医師にきちんと伝える)」、「協働して治療をおこなう」、「一人で悩まないこと」の5つが大事。また、医療現場では、普段とは別のコミュニケーション能力が問われ、自分のコミュニケーション能力を見直す努力も必要であり、特に言葉の数を増やし、思いを言語化すること、質問と確認を癖にするなど日常からの努力が大切だにご教示いただきました。これは医療従事者とのことだけではなく、普段の日常生活や職場においても共通の課題ではないかと改めて感じました。

その中で「医療を理解して参加し協働できる患者・市民の必要性」について考えさせられ、具体的には患者と医療者との対話・コミュニケーションが大切であり、患者は受け身にならないで伝える努力をすることの大事さをご教示いただきました。

山口育子先生のご講演は患者に勇気を与え、患者に寄り添ったすばらしいものだと感銘を受けました。

ベルピアノ病院リハビリテーション 中村 祐輔



特別養護老人ホーム ベルアルプ



ベルアルプでは昨年たくさんの取り組みを行ってきました。その中でも食事の盛り付けをパートナーと一緒にやる配食や、数字の計算を行う学習レクリエーション、ボールを使用したサッカーやバレーを実施し、身体機能の維持や認知機能の低下予防の為の取り組みを行いました。パートナーにとって、よりよい暮らしとなるよう、今年もパートナーと一緒に新しい取り組みにもチャレンジしていきます。



ベルアルプ デイサービスセンター

無料体験実施中！

★当日のサービスの提供★

- ・サービス時間は、11時～15時となっております。
- ・サービス内容は、送迎・体操・レクリエーション・
昼食・喫茶・おやつを提供致します。

※利用料金、昼食代は共に無料となります。



いつでもお気軽にお問い合わせ下さい。
ベルアルプデイサービスセンター 直通
電話 072-349-6714
FAX 072-349-6717
松岡・瀬口

ベルアルプデイサービスセンターでは、今年度より**無料体験利用**の受付を始めました。

11:00～15:00の時間内で、デイサービスでの各種サービスの体験や見学が出来ます。

この機会に、ぜひ一度お問い合わせ下さい。

ベルアルプ デイサービスセンター直通

電話 072-349-6714

FAX 072-349-6717



栄養教室開催のお知らせ

《今回のテーマは老化防止です！！》

老化は、歳をとるにつれて身体の機能が衰えることです。

皮膚のたるみ、視力や聴力の低下、運動機能の低下などもその例です。

適切な食事や運動を知って、老化を少しでも食い止めましょう。



興味のある方は
どなたでもご参加ください!!



《内容》 理学療法士(山田)：ロコモティブシンドロームについて
管理栄養士(録家)：老化防止の為の食事療法について
※食事付きとなっています。

日時：平成28年2月20日(土) 11:30～12:30(受付開始11:00)

場所：ベルアンサンプル 1階地域交流ホール

対象：興味のある方ならどなたでも参加可能

参加費：800円(お食事代込み)

申し込み：当院外来受付窓口、下記の電話にて申し込みをお願い致します。

食事準備の都合上、**2月12日までに**申し込みをお願い致します。

ただし、定員になり次第申し込みを締め切らせて頂きますのでご了承下さい。

問い合わせ先：ベルピア/病院

栄養管理室・内科外来 (代)072-349-6700

※受付は、9:00～17:00となっています。 **日・祝日**の受付はできません。

ベルアンサンプル行事予定

- ◆ ピアノ生演奏(第2木曜日)開催中
1月は変更予定
- ◆ 福泉校区ふれあいフェスタに参加します!!
日時：H26年2月予定
場所：福泉小学校

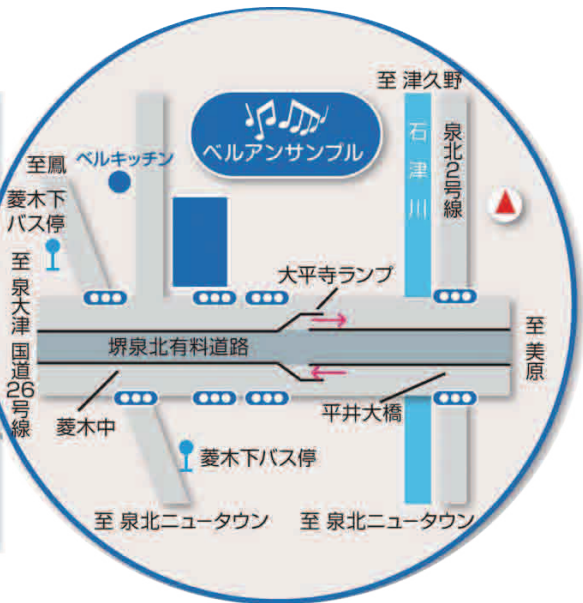
【私たちのチャレンジ】

チームとして、そしてパートナーとしてチャレンジします

健康の向上や回復を願うみなさまと、それをお手伝いする私たちは、その目的を共有するチームです。その目的の達成のため、お互いがパートナーとして情熱をかため、ベストを尽くすことこそ、最良の方法であると確信しています。

3つのベストにチャレンジします

私たちは、最適の治療（ベストキュア）、最善の心配り（ベストケア）、最高のパートナーシップ（ベストパートナーシップ）の実現を目指しています。



<ベルアンサンブルへの交通>

